



南林間小だより

大和市南林間9-3-2

☎ 275-3141

9月号



にぎやかな声が学校に戻ってきました。今日から2学期のスタートです。地域のお祭りに様子を見に行きましたが、子どもたちが楽しく元気な姿を見せてくれました。長い休みの間、事故などにあわず、子どもたちが無事に夏休みを過ごしていたこと、今日登校できたこと、とてもうれしく思います。これも保護者の皆様が夏休み期間中、子どもたちの健康管理や安全確保にご尽力いただいた結果だと、深く感謝申し上げます。

2学期は、運動会などの学校行事があります。学習もじっくり取り組める時季です。そのため一人一人が目標を持って挑戦してもらいたいと思います。目標をもつことにより、達成感を得ることができ、一つ一つの達成感が大きな成長につながっていきます。うまくいかなかったときには、なぜうまくいかなかったのかを考えることで、粘り強さも身につくことと思います。まずは、自分にできそうな目標を立てることが大切です。お子様とお話をしながら、達成できるよう励まし、達成できた時には、思いっきり褒めていただければ、子どもの意欲が高まることと思います。

また、2学期はクラスや学年の活動も活発になり、仲間とのかかわりの中で多くのことを学ぶ機会が増えます。「仲間がいたから考えが深まった。仲間がいたから、最後までできた。仲間がいたから成功することができた。」など仲間がいたことでたくさんの成長ができます。そんな仲間感謝できる子どもたちになってほしいと思います。

学校でも、子どもたちが目標を持って取り組み、挑戦し、自分を高めることができる2学期となるよう支援してまいります。

最後に、いつも見守ってくださる地域の方、保護者など、たくさんの人たちに支えられていることに、子どもたちが感謝の気持ちをもつよう伝えていきたいと思います。引き続き、本校教育活動に、ご理解・ご協力をお願いします。

(校長)

.....

夏季休業中、心が揺さぶられる経験、心に響く言葉に触れることができました。

【その1】ボランティアで参加した野外活動でのこと。普段の学校では不登校気味の子が「みんなで食べるとおいしいね」と言いながら仲間とテーブルを囲んで食べていたこと。

【その2】「インクルーシブ教育」に関する研修で講師の先生言われた言葉。

「『自立』とは他人に頼らず、なんでも自分でできるようになる、ということではない。そんな人はどこにもいない。みんな補い合っている。『自立』とは、依存(依頼)先をたくさんもつこと。より多くの人的ネットワークの中で生きていくことで、人は自分の意志で自由に『自立』した生き方ができる。」

2学期も南林小が、お互いの違いを尊重しながら、助け合いながら、さらに安心して過ごせる場所になることを目指します。どうぞよろしく願いいたします。(教頭)